

やまぶき

大森小学校
No.322
R4.6.23
文責 校長 出川政司

体験を通して五感で！

新型コロナウイルス感染症が少しずつ落ち着きを見せてきました。まだまだ油断してはなりません。いろいろな活動制限が徐々に緩和されつつあります。学校としても感染防止のため中止に留意しながらいろいろな学習活動を行っていくこととしています。

六月十九日付けの山陰中央新報「羅針盤」にタルマリー・オーナーシェフの渡邊格さんがこんなことを書いておられました。「この子は受験勉強だけをがんばってきたんだらうな」とか「この子はきっと小さい頃からお手伝いをして手を動かしてきたんだな」とか言うことがわかってくる。んだそうです。五感のうち「目」と「耳」は対象物と距離があっても働く一方で「手」「鼻」「舌」は距離が近くないと働かないということも引用しておられます。そして目と耳だけの経験は何事も自分事にはできないが、手鼻舌といった感覚を繰り返し使うと数々の失敗をくり返すうちにそれらが自分の糧になることを知ることによって自然に自己肯定感が高まると述べておられます。全くその通りだと思います。

学校に置き換えると、新型コロナウイルス感染症のためにGIGAスクール構想が前倒しされ、オンラインでの学習もこれからますます活発になっていくであろうなかでの警鐘を鳴らしておられるのではないかと思います。しかし、大森小学校では、たくさんの方のおかげでたくさんの方の体験をすることができます。六月の前半だけでも地域の田んぼでの田植え体験、花や野菜の栽培、筆の学習、校地の梅の収穫、銀山学習など行ってきました。年間を通して数え切れないほどの体験を通して学習活動を行っています。ヴァーチャルや画面越しではなく実際に触れて感じながらの体験ができることは何物にも代えがたいことだと感じています。素足で入る泥の感触、自分が触って出した音の響き、願いを込めながら種まきをした土の感触などヴァーチャルでは絶対に感じることはできません。そんな体験を通して失敗を恐れて尻込みするよりも失敗してもそれを糧として前に進む子どもたちに育ってほしいなと思っています。たくさんの方の本物に触れる体験を通して学ぶことができます。大森小学校の子どもたちは幸せです。



高山地区連合運動会

「どんなときでも無限燃焼」のスローガンのもと、高山地区連合運動会が行われました。校庭で開始しましたが天候悪化により体育館へ移動して続けられました。競技だけでなくアピールタイム（応援合戦）も子どもたちはしっかりとスローガン通り燃焼することができました。高山小学校の友だちとは事前に集合学習で一緒に話し合いをしたり練習をしたりして当日を迎えることができました。高山小学校の走るのが速い友だちとの競い合いを楽しむ子ども、アピールタイムでチームをリードする子ども、友だちを拍手で応援する子ども、一人ひとりが自分の役割を果たし、充実した運動会になりました。



読書の取組

毎週水曜日の朝には「全校朝読書」に取り組んでいます。全校児童と担任が図書館に集まり静かに読書を行います。自分が借りた本やその場で選んだ本を読みます。子どもたちが「がんばっている音」にはいろいろな音がありますが、この音が聞こえない静かなことも「がんばっている音」です。連合運動会に併せて読書玉入れにも挑戦しました。赤白どちらがたくさん読んだのでしょうか？



～6, 7月の主な行事～

- 6月24日 SC 体幹
- 27日 水泳学習
- 28日 ミニ愛護団活動 体幹
- 29日 水泳学習 全校読書 ALT 学力向上タイム
- 30日 体幹
- 7月1日 大田市学校教育研究大会（大森小学校会場）
- 4日 水泳学習
- 5日 体幹
- 6日 全校読書 ALT 学力向上タイム 水泳学習
- 7日 委員会活動 体幹
- 8日 体幹
- 11日 児童総会
- 12日 中学年集合学習 ミニ愛護団活動 体幹
- 13日 全校読書 ALT 学力向上タイム
- 14日 個人懇談
- 15日 個人懇談
- 20日 終業式 給食最終
- 21日 サマースクール SC